

西の鯖街道かわら版

VOL.2

編集／西の鯖街道協議会事務局 南丹市美山町安掛 美山ふるさと(株)内 TEL0771-75-0815 2010年10月発行



ウッディー京北



かやぶきの里
きたむら



河鹿荘



よってっ亭



コパン



鯖そばの「しおり」

●取り扱い店舗

高浜町	コミュニティ・レストラン「Copain(コパン)」	JR若狭高浜駅内まちの駅 TEL.0770-72-0774	700円(税込)
高浜町	道の駅「シーサイド高浜」	高浜町下車持46-10 TEL.0770-72-6666	700円(税込)
おおい町	道の駅「名田庄」そば処 よってっ亭	おおい町名田庄納田終109-4-1 TEL.0770-67-3788	800円(税込)
おおい町	町営ホテル「流星館」	おおい町名田庄納田終109-6-1 TEL.0770-67-3000	800円(税込)
美山町	かやぶきの里「きたむら」	美山町北 美山かやぶきの里 TEL.0771-77-0146	900円(税込)
美山町	美山町自然文化村「河鹿荘」	美山町中下向56 TEL.0771-77-0014	1,000円(税込)
京北	道の駅「ウッディー京北」	京都市右京区京北周山町上寺田1-1 TEL.0771-52-1700	750円(税込)

*京都ゼミナールハウスは、ご予約の料理の一品としてご用意します。

高浜町では、町特産の杜仲の葉をそばにブレンドした健康と美味を兼ね備えた「杜仲そば」を使用。おおい町名田庄では、地元の特産じねんじよをつなぎにした「じねんじよそば」。美山町のかやぶきの里「きたむら」では、毎日手打ちした美山産のそばを、冷たくして召し上がっていただきます。自然文化村「河鹿荘」では、自家製の梅干をトッピング。京北では、地元産の水菜にしょうがを添えて食べていただくというように、各町特徴のある「鯖そば」に仕上がりました。西の鯖街道に越しの時には、ぜひお立ち寄りいただきご賞味ください。

昨年7月から、高浜・おおい・美山で販売を開始しました「鯖そば」が、京北でも販売することになり、これで四市町揃っての販売が実現しました。これを機に、宣伝力を強め、街道に訪れる方を知っていただくために、この度、鯖そばの「のぼり」と「しおり」を作成し、各取り扱い店舗に配布、設置しました。

この鯖そばは、鯖すしと同様に、お手軽に食していただくために、西の鯖街道の名物として開発しました。鯖は、高浜町の若狭産、そばは、おおい町・美山町産のものを使用。「地産地消」の商品です。

いずれのお店も「鯖そば」も工夫を凝らしたメニューと、街道にいられたお客様に好評をいただいています。例えば、高浜町では、町特産の杜仲の葉をそばにブレンドした健康と美味を兼ね備えた「杜仲そば」を使用。おおい町名田庄では、地元の特産じねんじよをつなぎにした「じねんじよそば」。美山町のかやぶきの里「きたむら」では、毎日手打ちした美山産のそばを、冷たくして召し上がっていただきます。自然文化村「河鹿荘」では、自家製の梅干をトッピング。京北では、地元産の水菜にしょうがを添えて食べていただくというように、各町特徴のある「鯖そば」に仕上がりました。西の鯖街道に越しの時には、ぜひお立ち寄りいただきご賞味ください。

西の鯖街道名物 四市町の「鯖そば」が勢揃い! のぼり、しおりを制作し、宣伝力強化



のぼり



京都錦市場への出店を今年も継続

昨年7月から毎月京都錦市場商店街に出店し、西の鯖街道の特産品を販売してきました。この事業を、今年も継続することが決まりました。しかし、京都錦市場商店街は、近年、観光地化して来街者のほとんどが観光客ということから、西の鯖街道各市町から出品の特産品と来街者とのミスマッチを生み、苦戦しています。商品の見直しと共に、営業日を5日から3日へ短縮することを決定しました。また、各市町の縁故の方へ案内のがきを作成し来店増加を目指しています。

今年の錦への出店日

- 5月 28日(金) ~30日(日)
- 6月 18日(金) ~20日(日)
- 7月 15日(木) ~17日(土)
- 8月 27日(金) ~29日(日)
- 9月 18日(土) ~20日(月)
- 10月 29日(金) ~31日(日)
- 11月 26日(金) ~28日(日)
- 12月 24日(金) ~26日(日)

いずれも。営業時間 午前10時~午後5時



決定された本年度事業

- (1)西の鯖街道のPR事業の推進
- (2)日本風景街道の登録
- (3)京都錦市場商店街等での共同出店(毎月定期的に開催)
- (4)9月の平城遷都1300年祭会場での共同出展
…9月12日(日) ~ 14日(火)

その他、

- 広報・宣伝の充実を図るため、まず開発した「鯖そば」の宣伝力を強化と広報誌の発行(年2回)
 - 物産流通チャンネルの開発のための事業を検討
 - 観光事業の具体化のための文化・観光事業の充実…「バスツアー企画」の実現
 - 西の鯖街道沿線各市町の市民・町民向け事業の実施…「西の鯖街道一食のフェア」
- などが、議題として検討されました。

記念講演…高浜町「御贄献上行列」の報告

4月20日~24日の5日間に、高浜町から平城遷都1300年祭会場へ向けて高浜町「御贄献上行列」が敢行されました。その苦労話と報告が、西の鯖街道協議会副会長の田中康隆氏と、郷土史家 舘太正氏から話されました。

平成22年度総会で新年度の事業が決定
5月11日(火) 南丹市美山支所会議室にて、平成22年度総会を開催しました。総会では、21年度の事業、決算を全会一致で承認され、22年度の事業計画・予算案も承認されました。



御贄献上式

高浜町「御贄献上」 西の鯖街道を通り、 奈良へ130キロの 道を踏破。

高浜町では、昨年9月より、本年4月24日開催の平城遷都1300年祭に向けて、「御贄献上行列」を計画して準備を重ね、4月20日高浜町を出発し西の鯖街道を通り、奈良の会場への130キロの道を踏破しました。この事業は、平城京跡から出土した木簡の中に、高浜町から塩や魚が御贄（税）として運ばれた記録があり、それを元に、今回、高浜町のまちおこし事業として取り組んだものです。24日の平城遷都1300年祭会場での献上式までの5日間は、幾つかのドラマがあり、また高浜町民こぞって盛り上がりを見せました。また、西の鯖街道沿線の町の皆さんとも交歓があり、この街道を歩き通すという記念すべき事業になりました。130キロの道を踏破した皆さんご苦労様でした。



高浜港出発

平城遷都1300年祭会場出店



おおい町



高浜町

9月12日(日)～14日(火)の3日間、平城遷都1300年祭の開かれていた平城宮跡交流広場にて、高浜町・おおい町・南丹市美山町・京都市京北の西の鯖街道協議会参加4市町が出展し、当街道の物産と観光をアピールしました。奈良の都と西の鯖街道の歴史的つながりを紹介し、訪れた人々の関心を誘っていました。昼食時には、各市町特産の鯖すしが好評で買い求めるお客も多く、さらに、特筆するのは、高浜町からは、高浜町か



西の鯖街道の法被が 出来ました。

平城遷都1300年祭会場への出展に合わせて西の鯖街道の法被を作成しました。襟元に、西の鯖街道と染め抜き、背中に、西の鯖街道のシンボルマークを入れたもので、これからの京都錦市場での出店や、各種イベント出展などにも着用し当街道の物産販売に活用します。

西の鯖街道フェア

千数百年の昔から奈良の都に物資を届けた街道
平城遷都1300年祭会場にて、物産と観光を堂に紹介。

出品の椿油「わかさ椿」が、比較的高額にもかかわらず買求めるお客が多くあったことです。いま注目の椿油ということと、単に安価な品が売れるということではなく、時宜を得た商品なら買い求められるということを示しています。これからの特産物販売の一つのモデルとなるかも知れません。

4市町の「道の駅」に 西の鯖街道コーナー設置



西の鯖街道を、より広くアピールするために、高浜町・おおい町・南丹市美山町・京都市京北の4市町の「道の駅」に、「西の鯖街道コーナー」を設置します。このコーナーには、西の鯖街道協議会参加の各市町の紹介パンフレット等と、物産の一部を置きます。各市町の道の駅へ行けば、それぞれの市町の情報が得られるものとなります。
西の鯖街道コーナーを設置する道の駅は
●高浜町：道の駅「シーサイド高浜」
●おおい町：道の駅「名田庄」
●美山町：道の駅「美山ふれあい広場」
●京北：道の駅「ウッディー京北」
それぞれの道の駅にお寄りの節は、ぜひご覧ください。

日本風景街道登録申請、 いよいよ大詰め

昨年より進めてきました国土交通省の「日本風景街道」への西の鯖街道の登録申請が、いよいよ大詰めを迎えます。街道沿線4市町の連携による当街道の地域振興を目的とし、街道の四季を通じての催事・歴史・文化・産品を発信するために、当街道でリンクする4市町の地域連携を推進します。
ルートは、高浜町漁港からおおい町道の駅「名田庄」、南丹市美山町、京都市右京区京北、京都市北区鷹峯、京都御苑までです。各市町のルートには、それぞれ文化遺産・自然が豊富にあり、必ずや、都市からの観光客にとって魅力ある街道になるものと思います。登録認定の暁には、新たな観光のルートとして4市町連携のもと、この街道を全国へ発信して参ります。



高浜漁港
堀越峠
名田庄側



栗尾峠 京北周山遠望



京見峠への氷室道



京都御所

京都府立セミナーハウス平成22年度「西の鯖街道」講座 歩こう・学ぼう、西の鯖街道 をモットーに

自然を観察しながらの街道歩きを基本にすえ、更に街道沿線に横たわる文化や歴史、体験学習にも目を向けた講座を開催。

5月15(土)・16日(日) 名田庄

小畑先生による西の鯖街道の講義
野鹿の滝見学と昼食・層会館で歴
などの講義・土御門家墓所探訪と改
築中の薬師堂を見学

16日

堀越峠近くから棚野坂を越え、ブ
ナ林の中を坂尻へと街道歩き。昼食と
自己紹介は棚野坂の六石仏付近で。

6月12日(土)・13日(日) 高浜

小畑先生による西の鯖街道や街道
筋の自然についての講義。細野滝ノ町
付近から笠峠を越え小野郷へと、小
野郷から供御飯峠を越え杉坂口まで
の街道歩き。

13日

バスで高浜へ向かう。高浜漁港のセリ
の風景を見学後、館太先生の案内で、
高浜城址を探索、明鏡洞前の公園で昼
食後、青海神社に参拝。中山寺では33
年ぶりに開帳された秘仏馬頭観音を参拝
し、杉本ご住職から丹波茶や北廻船や
中国貿易による交流など西の鯖街道に関
連した楽しく有意義な話を聞きました。

9月18日(土)・19日(日) 美山

小畑先生による西の鯖街道の講義
の後、東憲氏による美山や美山の文
化財についての講義。昼食の後、バス
で移動し、権蔵坂を目指しての街道
歩き。

18日

鴨瀬谷からバスで移動。馬場の滝や
周辺を観察、佐々里までの谷沿いの街
道歩きと昼食。午後はセミナーハウ
スにてお餅作りの体験学習。

19日

小畑先生の西の鯖街道の講義の後
地元郷土史家による、安倍貞任伝説
や平泉中尊寺に象徴される藤原三代
と京北との繋がりなどについての講義
を聞きます。午後は貞任峠へ登り貞
任塚を参ります。
ゼミナールハウスから矢代の日吉神
社までの旧道を歩きます。昼食後
無形文化財の矢代田楽を見学し、神
主さんから説明を頂きます。

17日



貞任峠



矢代田楽



権蔵坂



高浜中山寺



笠峠



棚野坂
土御門家墓